

特養だより

令和7年 12・1月号

2025年 元旦にあたって

施設長 原 健作



2025年の元旦を迎えました。よく晴れた暖かな新年です。

2024年度は、どんな年だったでしょうか？当園にとっての大きな出来事は

①7、10月と10人前後のコロナクラスターが2回発生した事 ②幾つかの大型設備(エアコン・電話交換機・エレベーター)の更新工事が出来た事 ③穏やかな看取りケアが続けられている事 ④介護職不足の中、多くの職員が入れ替わり、業務に慣れるまでまだまだ苦労が続いている事。

大木介護職員、野口介護職員、吉田介護職員、村松介護職員、市毛介護職員、小原介護職員、山下介護職員、渡邊(玲)介護職員が仲間になってくれ、鹿島作業療法士が入職し、訓練も始まっています。職員の安定は、良い利用者サービスの土台です。諸物価高騰の中、財政的にはとても苦戦しており、楽な経営ではありませんが、介護・看護の仕事が価値ある仕事として存在出来る様にしていきたいと考えます。職員一人一人が自分自身を見つめて仕事に向き合うことが大切です。以下元旦の「新年の会」での一コマです。

なぜか笑顔の
ハイタッチ♪

お獅子に囲まれ
ニコリ★

舞手は
ベテラン職員！

全員集合写真
今年もこのメンバーで
頑張ります!!!

MERRY CHRISTMAS!!!

12月22日、年忘れ会を行いました。
今年は利用者様によるピアノ演奏や
ハンドベル演奏と盛りだくさん!!
サンタがプレゼントを配り歩き、
素敵な笑顔で溢れた1日でした♡